

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

## 「お盆も近くなりました」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

さて、今年もまたお盆が近づいてきました。お盆というと、亡くなつていかれたご先祖があこの世からこの世に帰ってくるので、お墓をきれいにお荘厳してお参りし、亡き人を供養する……という感じでしょうか？いえいえ、私たち浄土真宗のみ教えの上ではそれはまつたく違います。今年のみなさまもぜひ浄土真宗のお盆のことを知つていただきますと思います。そこで本願寺から、**本願寺新報『お盆特集号』**を寺報をお配りする数だけ購入しました。私なんかここでくどくど書くより、よほど上手い書き手がいてねいにわかりやすくカラーで絵もつけて説明してくれています。すぐに古新聞と一緒にしないで、お盆休みの間にじっくりお読みください。また、お盆で帰つてこられたお若い世代の方にもぜひ読んでいただくよう

にお勧めください。子供さんでも読みやすいように編集されております。

そもそも、本願寺新報をお配りしようと思つたのは、昨年から本願寺で厳修されておりました**『伝灯奉告法要』**(阪北組でも団体参拝を行い、私もご門徒さま数名もお参りしました)が無事にすべて終わりました。この法要にご門主さまが示された**『念仏者の生き方』**という文章を全文載せたいと思つたのですが、載せるとこの寺報がほとんど埋まつてしまふと思われるので、じゃあ本願寺新報を付録につければいいじゃないか！と思つたのでした(4面と5面に載っています)。この文章にはお釈迦様が説いてくださった仏教の膨大な經典の中から親鸞聖人が選び取つてくださった浄土真宗のみ教えが凝縮されてあります。ぜひ味わつて読んでみてください。

そして、これを機に、ぜひ本願寺新報を購入されますことをお勧めいたします。『ぜひ』ばかりでまことに恐縮ですが、誰のためでもなく『私』のために届けられているのが阿彌陀如来の本願であることを一人でも多くのみなさまに知つていただけたらと思います。

なお、新聞に載つていた本などを欲しいという場合、お急ぎでなければ私が本願寺に行つたついでに買ってきます。そうすれば送料がかかりません(笑)。

## 「永代経が厳修されました」

去る6月9日(金)に当院の永代経が厳修されました。

寺にお参りくださったみなさま、御膳米(お供米)をお供えして下さつたみなさま、お蝋燭代を寄進して下さつたみなさま、本当に有り難うございました。奥田先生にはいつもの温かいお話の中から、凡夫が仏と生まれてゆく阿彌陀さまのお働きをし



お供えくださった御膳米



永代経で奥田先生のご法話を熱心に聴聞するみなさん

# 受講者募集!

ばんぼくそ れんけん  
阪北組 連続研修会(連研)

《話し合い法座》

全12回(9月より隔月開催)



生きてると出会うたさんの?、  
お念仏の仲間と  
とことん話し合ってみませんか?  
くわしいチラシ・お申し込みはお寺まで

みじみと味わわせていただきました。  
御膳米の袋は、ご門徒さまにお配りしたつもりでしたが、ご縁でお参りしている他のお寺のご門徒さまにも一部入っていました。すみませんでした。  
**「阪北組『連研』のご案内」**  
この9月から2ヶ月に1回、2年をかけて阪北組の連研が開催されます。生きていく上でのさまざまな問いをみんなで話しあうという有意義な研修です。大関地区のお寺をお借りして行われます。平成9年と10年には三国地区でも開催されました。また三国に来たときでももちろん結構ですが、それまで待てない!という方は今回ご参加ください。もちろん住職も参加します。内容など詳しく知りたい方は住職までご連絡ください。

## 「吉崎別院報恩講」

ご連絡がギリギリになってしまいました。吉崎別院の報恩講が厳修されます。住職も出勤いたします。吉崎別院は浄土真宗にとつてたいへん大切なお寺です。蓮如上人はここで多くの御文章を書かれ、正信偈を日々のお勤めと定められました。しかし、年々お参りが減っている状況です。みなさまお誘い合わせお参りいたしましょう。

・日時 8月7日(月) 10時・13時30分

8日(火) 10時・13時30分

9日(水) 10時

・法話 高務哲量師(福井・千福寺)

## 「お御堂ライブが開催されます」

今年も本願寺福井別院(西別院)の本堂でお御堂ライブが開催されます。今年はなんと『**極楽GO**』と題して、落語のライブが行われます。チケットは住職までご連絡ください。住職はお参りもあるので、行くかどうかはまだ考え中です。

・日時 9月10日(日) 午後4時

・場所 西別院本堂

・出演 月亭方正さん(元山崎邦正)

桂三度さん(世界のナベアツ)

・料金 前売り1500円(一般)

## 「いつも心に有り難う」

お盆が近づき、お墓の周りに行ったら草たちの繁茂に絶句し、ぼう然と立ち尽くす有り様でしたが(大袈裟↑これも仏教用語が変な使われかたをする例ですね)、先日、ご門徒のKさんが、草刈り機できれいにしてくださいました。もううれしくうれしくて。また、みなさまにはいつもお野菜などいただいたり、いろいろと気を遣っていただいていた有り難うございます。みなさまのおかげでこうして生きており、ボンクラ住職ですが、なんとか務めさせていただいております。

現代はなにかと息苦しく、生きづらい世の中になってきています。♪いつも心に青空を♪とはなかなかいかないかもしれませんが、なんとかなる。なるようになる!と南無阿弥陀仏の六字となつて、いつでも、どこでも、この私に届いてくださっていることをいいただきながら、ナマンダブとお念仏の生活をさせていたいただきたいものです。暑いですがみなさまどうぞご自愛ください。 合掌

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず住職の携帯にご連絡下さい。出られない場合は留守電に入れてください。

住職携帯 090-8967-7902

メール soichiro4989@gmail.com

ブログ 西光寺で最高時!